

安全こども自転車下田地区

下田警察署・交通安全協会下田地区支部



南上小学校チーム優勝

—5月28日 こども自転車大会—

主な内容

P2~5 行政報告 P6 町議会議員選挙

6月定例町議会



平成23年南伊豆町議会6月定例会が6月9日、10日に開催され、「人権擁護委員の候補者の推薦について」など原案どおり可決されました。一般会計予算は、これまでの歳入歳出予算の総額に5,756万4千円を追加し、予算総額を44億8,956万4千円としました。

行政報告

平成23年南伊豆町議会6月定例会の開会にあたり、3月11日に発生しました東日本大震災において亡くなられた方々に、謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

また、被災地において昼夜の区別なく奮闘されております国、県、市町村等の関係機関及び関係団体等の皆様並びにボランティアの皆様様の活動に、深く敬意を表するものであります。

それでは、次の2項目について行政報告をいたします。

1. 東日本大震災以降の対策について

(1)東日本大震災に係る本町の被害状況等について

①本町での被害及び避難状況について

3月11日午後2時46分に発生しました東日本大震災(当初は、東北地方太平洋沖地震と呼称)は、3月定例会第2日の開催中に発生し、議会を中断・散会していただき、事前配備体制をとるとともに、

大津波警報発令に伴い、同日午後4時15分避難勧告を発令しました。

町内では、石廊崎港において80cmの津波が観測され、湊地区では係留中の小型ボートが転覆しましたが、浸水等の被害はなく、また、避難勧告発令に伴い町内4小学校体育館に設営した避難所には、最大313人が避難しましたが、けが人等はなく、避難所は、3月13日午前10時をもって閉鎖しました。

なお、発災後の計画停電、行事及び旅行等の自粛により本町の基幹産業であります観光業が大きなダメージを受けましたが、この件につきましては後述する(2)緊急経済対策で報告させていただきます。

②義援金及び救援物資等の状況について

義援金につきましては、6月6日現在で1,642万779円のご厚志を多くの皆様からいただくとともに、社会福祉協議会を通じて80万2,549円のご厚志をいただきましたことに、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

また、救援物資につきましては、町の防災備蓄品から、アルファ米250食、水500ml(ペットボトル)168本、毛布100枚を贈るとともに、

健康づくり推進協議会は、財団法人日本食生活協会の要請により、食料品、下着類及び衣類等を被災地に送りました。

③被災地への職員派遣状況及び今後の派遣計画について

被災地への職員派遣につきましては、静岡県東日本大震災に係る職員派遣計画に則り、岩手県遠野市及び宮古市を基点に派遣しています。

まず、一般職員派遣第6陣(4月28日～5月6日)として健康福祉課主事1人を、また、本日から第12陣(6月9日～18日)として建設課技師1人を派遣するとともに、公衆衛生チーム第7班(5月2日～6日)及び第17班(6月1日～5日)には健康福祉課保健師1人をそれぞれ派遣しました。

今後も、静岡県の要請に応じ、できうる限り職員派遣に応じ、被災地の復興に寄与して参る所存であります。

また、派遣とは別に、ボランティア休暇により現地に赴き、災害復旧に寄与する職員も2人おりましたので、今後も、事情が許す限り、規則等の範囲で認めて参る所存であります。

(2)緊急経済対策等について

①観光客及び観光施設の入込状況並びに今後の誘客対策について
東日本大震災が発生した平成23年3月11日から3月25日までの間に、本町内ホテル、旅館、民宿等宿泊施設においては、今後の宿泊予定分も含めて8,930人のキャンセル(観光協会調べ)が発生し、観光業のみならずその他各種産業に及んで大きな打撃を受けることとなりました。

このような状況の中でゴールデンウィークには、若干の回復傾向を見せました。4月29日から5月8日までのゴールデンウィーク中の観光客入込状況につき報告いたします。

宿泊施設については、観光協会が旅館組合員等7軒に対して聞き取り調査を行った結果は表のとおりであり、4月29日から5月8日の期間中の利用者数は5,107人で、対前年度比94.8%となりました。民宿等小規模宿泊施設については、50～60%の利用状況となっております。

日帰り観光施設については、観光協会聞き取り調査の結果、各施設とも概ね70%～80%の利用状況となりました。中には前年並みの

利用状況を維持できた施設もあります。

イベント入込については、5月4日に開催されたフェスタ弓ヶ浜は、地引網等のイベントの開催を自粛したため、本年度入込みは約1,000人で、昨年度実績の約3分の1となりました。

また、町営温泉施設については、入館料の徴収実績が銀の湯会館で3,679人(平成22年度3,856人)、みなと湯で1,709人(平成22年度1,651人)、合計5,388人(平成22年5,507人)で、対前年度比97.8%となりました。

なお5月9日から5月31日までの7軒の宿泊実績は次のとおりとなっており、ゴールデンウィークの状況は一過性のもので、引き続き厳しい状況が続いています。

このような状況にありますことから、6月、9月、10月に弓ヶ浜海水浴場において開催するオープンウォータースイミング関連事業を核として観光業の活性化を図って参ります。

9月に開催するスイムレース国際大会は、台湾、オーストラリア等環太平洋地域からの水泳選手の参加が中心となります。現在、各方面の調整を行っているところで

ありますが、6月に開催するスイムレース国内大会には、台湾成人遊泳協会の関係者が視察に入ることが概ね決定いたしました。

②当面の町の対応について

町は、東日本大震災による影響に関して、平成23年3月31日に町議会の決議、3月31日に自民党南伊豆町支部からの要望書並びに、4月7日に産業団体連絡協議会からの要望書を受け、庁内で検討、協議を重ね、平成23年4月13日の時点で防災対策及び緊急経済対策の対応策についてまとめ、回答しました。

防災対策としては、(1)防災計画の見直し、(2)JR伊東線及び伊豆急行線の早期完全復旧の要請、(3)計画停電の対策、(4)被災者の受入れ、(5)地震発生時の滞留観光客の避難先の確保及び費用補填であります。

また、緊急経済対策としては、(1)利子補給等による金融支援対策、(2)上水道料金の納入期限の猶予措置、(3)投資的経費等事業の見直しの実施、(4)観光事業の活性化、(5)雇用の安定確保対策であります。

東日本大震災による二次的被害は町内のあらゆる産業に深く影響

ホテル・旅館宿泊状況

調査日	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日
平成23年度	624人	666人	465人	508人	773人	752人
平成22年度	516人	439人	732人	847人	823人	567人
対前年比	120.90%	151.90%	63.57%	59.98%	93.90%	132.60%

調査日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日	入り込み合計
平成23年度	426人	323人	368人	202人	5,107人
平成22年度	486人	400人	324人	252人	5,386人
対前年比	87.78%	80.71%	113.48%	80.08%	94.82%

5月中旬以降宿泊実績

調査日	5月9日～31日
平成23年度	2,709人
平成22年度	4,312人
対前年比	62.82%

を及ぼし、町内経済が疲弊していることから、緊急経済対策として、次のとおり実施して参りましたのでご報告申し上げます。

中小企業事業者への金融支援対策として、町中小企業事業資金融資制度を改正し、各種借入金制度に係る利子補給事業に対する補給率増強を講じました。

東日本大震災の二次的被害を蒙っている事業者を対象として、年度内納入を原則とした上水道料金の納入期限の猶予措置を講じました。

投資的経費等事業の見直しを行い、中木地区観光施設整備工事を始め、町道や河川維持工事等の入札を4月18日及び5月19日に行い、公共事業の前倒しによる発注を行いました。

このほかにも、観光事業の活性化策として、6月、9月、10月に弓ヶ浜海水浴場においてオープンウォータースイミング関連事業を実施して参ります。

緊急経済対策は、継続して実行していくことが重要であるので、今後も、町内の経済状況等を把握し、時勢に合った対策を講じて参りたいと存じます。

(3)防災対策について

①防災計画見直しについて

3月11日に発生しました東日本大震災は、マグニチュードや震度もさることながら、想像を絶する津波の規模・威力並びに安全神話が崩れた原子力発電所における事故がきわだちました。

政府は、4月27日に「中央防災会議」を開き、津波対策を中心に防災基本計画を見直す方針を決め、また静岡県においても4月15日に「津波対策検討会議」を設置し、短期的対策及び中長期的対策それぞれにソフト・ハード対策を織り込み、計画を見直すことを決めました。

本町におきましては、平成22年8月に総務課でワーキンググループを立ち上げ、地域防災計画を始めとする各課等が所管する防災計画、マニュアル等の整合化に取り組んでいるところでありますが、県の見直しに遅れをとることがないよう整合性を図りながら、全庁あげて安心・安全な町づくりを推進する所存であります。

②防災備品等の整備及び今後の方針について

3月11日の発災時以降、住民の方から要望が多く寄せられたことへの短期的対策として、防災ラジオ、避難所の発電機及び非常食等の整備並びに区長会を通じて、自主防災から要望があった防災備品への補助等につきまして、当6月定例会の南伊豆町一般会計補正予算(第1号)に、第8款第1項第5目446事業災害対策事務として2,300万9千円を計上させていただきました。

また、当該予算の中には、今後の長期的対策に資するため、町内に11基設置してある防災倉庫の棚卸、津波避難にかかる避難地・避難路調査、海拔調査、孤立予想集落を中心とした緊急ヘリポート調査等の事業を中心とした緊急雇用創出事業として260万7千円を計上させていただきましたので、後ほどご審議の程よろしくお願いたします。

なお、防災計画の見直し並びに各種調査等の結果を踏まえ、可能なところから、防災対策を講じて参る所存であります。



南伊豆町防災ラジオ

③自主防災組織の見直し及び強化について

県は、東日本大震災を受けて、例年7月の実施より前倒しして5月21日に緊急津波避難訓練を実施し、本町では全町において避難路・避難地の確認を主な目的に、2,845人の参加がありました。訓練を実施しました各自主防災組織からの報告書や今後より明らかになる東日本大震災からの教訓等を念頭に、自主防災組織の見直し及び強化を図って参る所存であります。

④安全・安心して暮らせるまちづくり元年の実現に向けて

私は、広報みなみいず1月号「新年のごあいさつ」並びに3月定例会における「施政方針」において、平成23年度を「安全・安心して暮らせるまちづくり元年」と説明させていただきました。

東日本大震災を予想したわけではありませんが、この未曾有の大災害について、郡町長会のメンバーとともに6月3日から5日まで岩手県遠野市に設置された静岡県現地支援調整本部を訪問し、状況説明を受けた後、山田町及び宮古市等を中心に視察して参りました。

その惨状を目の当たりにし、先ず住民の安全を確保することが安心への第一歩と再認識した次第です。

東日本大震災を受け、新聞紙上等では、東海・東南海・南海の3連動地震の発生可能性について連日のように伝えられていますが、今まで以上に住民の声を真摯に受け止め、議会の皆様と協議を重ね、説明責任を果たしながら安全・安心して暮らせるまちづくりにまい進する所存でありますので、皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

2. 主要建設事業等の発注状況について

平成23年度第1四半期(4月から6月)における主要建設事業等の発注状況は、次のとおりであります。

- 南伊豆町例規データベースシステム賃借
2,575,440円
(株)クレストック
- バッチ処理委託
10,866,000円
(株)TKC
- 総合行政情報システムソフト賃借
7,972,650円
(株)TKC
- 自主運行バス事業補助金
64,750,000円
(株)南伊豆東海バス
- 戸籍電算化総合システム賃借
3,603,600円
NTTファイナンス(株)東海支店
- 戸籍保守運用サポート委託
2,079,000円
富士ゼロックスシステムサービス(株)
- 在宅高齢者等食事サービス事業委託
11,043,474円
社会福祉法人梓友会
- 通所型介護予防事業委託
2,013,870円
社会福祉法人梓友会
- 生活管理指導員派遣事業委託
3,736,576円
社会福祉法人梓友会

- 可燃物収集業務委託
22,528,800円
畑中物産斉藤芳文
- 一般廃棄物分別収集運搬業務委託
24,072,300円
(株)栄協メンテナンス
- 焼却施設定期補修工事
45,560,000円
(株)タクマ
- 遊休農地美化業務委託
3,093,300円
南伊豆町農業振興会援農センター部会
- 広告(誘客)宣伝事業委託
3,800,000円
南伊豆町観光協会
- 湯の花観光交流館指定管理委託
4,900,000円
南伊豆町観光協会
- 中木地区観光施設整備工事
16,590,000円
(有)高橋吾市工務店
- 銀の湯会館温泉槽・濾過機濾材交換・洗管修繕
2,331,000円
(株)塩崎工業
- 町営温泉施設業務委託
59,800,000円
(株)共立メンテナンス
- 南中小学校放課後児童クラブ業務委託
5,270,300円
NPO法人風楽

- 南伊豆中学校教育用情報機器保守点検委託
2,016,000円
(株)下田OAシステム
- 南伊豆東中学校教育用情報機器保守点検委託
2,016,000円
(株)下田OAシステム
- 町立小学校教育用情報機器保守点検
2,898,000円
(有)村上書店
- 公共下水道に伴う下賀茂地区配水管布設替工事(第1工区)
3,570,000円
(株)イナセツ南伊豆支店
- 南伊豆町クリーンセンター等維持管理業務委託
10,857,000円
日本ヘルス工業(株)静岡営業所
- 町単独下水道事業下賀茂処理分区分渠築造工事(第1工区)
2,971,500円
長田建設工業(株)
- 町簡易水道等水質検査業務委託
4,046,385円
(株)静環検査センター
- 町道成持吉祥線道路舗装工事
42,525,000円
丸三工業(株)
- 緊急雇用創出事業業務委託
(南伊豆町環境整備事業)
2,375,100円
(株)いしい林業

以上で、平成23年6月定例会の行政報告を終わります。

7月24日(日) 南伊豆町議会議員選挙

◆投票できる方

今回の南伊豆町議会議員選挙に投票できる方は、平成3年7月25日以前に生まれた方であって、投票日現在で引き続き3か月以上南伊豆町に居住している方です。(転入した場合は、平成23年4月18日以前に転入届を提出している必要があります。)

このため、平成23年4月19日以後に他市町から転入された方や、投票日までに他市町へ転出された方は投票できませんのでご注意ください。

◆投票所は町内8か所

投票所は、以下の8か所です。

投票区	区 域	投 票 所
1	上賀茂・石井・一條・加納・下賀茂・二條	南伊豆町武道館
2	下小野・青野・川合野・上小野・毛倉野・岩殿	南上小学校屋内運動場
3	市之瀬・平戸・蛇石・天神原	市之瀬高齢者活動促進センター
4	東子浦・西子浦・落居・妻良	五十鈴公民館
5	伊浜・一町田	伊浜山村活性化支援センター
6	差田・吉祥・中木・入間・立岩・吉田	差田保育所
7	下流・大瀬・石廊崎	南崎保育所
8	湊・手石・青市	南伊豆東小学校屋内運動場

◆当日投票時間は午後6時まで

7月24日(日)の投票時間は、午前7時から午後6時までです。

選挙管理委員会から送付される入場券を持って、入場券に記載された投票所で投票してください。

◆期日前投票は7月20日から

投票は、投票日に決められた場所で行うことが原則です。

しかし、投票日に仕事や旅行、出産予定などで投票できない方のために「期日前投票制度」があります。

期日前投票のできる期間は、7月20日(水)から7月23日(土)までの4日間です。

投票場所は、役場1階の小会議室で、投票時間は期間中の毎日、午前8時30分から午後8時までです。

現在、役場新庁舎建設工事のため、役場表側駐車場が大変手狭になっています。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、お車でお越しの方は、役場と郵便局との間に入り、役場裏側駐車場に駐車してください。

◆代理投票について

身体の故障などのため、自分で投票用紙に候補者の氏名を書くことができない方のために、代理投票が認められています。代理投票を希望する方は、投票の際、投票所の係員に申し出てください。

◆不在者投票施設での投票

選挙の告示日(平成23年7月19日)に入院または入所中で、投票日においても引き続き入院または入所していると見込まれる方で、病院または施設から外出することが困難な方は、入院または入所中の施設において不在者投票をすることができます。

ただし、この不在者投票は、静岡県選挙管理委員会の指定を受けた病院または施設でなければ行うことはできません。指定の有無については、入院または入所中の施設か南伊豆町選挙管理委員会にお問い合わせください。

◆入場券は7月19日に届きます

選挙管理委員会では、7月19日(火)中に入場券が皆様のお手元に届くよう郵送します。

【問合せ】
南伊豆町選挙管理委員会
☎62-6211

8月1日から被保険者証(保険証)が変わります 後期高齢者医療制度のお知らせ

問合せ 健康福祉課 国民健康保険係 ☎62-6233

1 被保険者証(保険証)について

後期高齢者医療制度の保険証は毎年8月1日に新しい保険証に変わります。現在お使いのオレンジ色の保険証は、有効期限が7月31日です。8月1日からは、7月下旬までに郵送します藤色の新しい保険証をお使いください。

有効期限の過ぎた保険証は無効となり使用できませんので、細かく裁断し住所・氏名などが他人に知られないよう破棄してください。



↑8月1日からは藤色の保険証をお使いください

3 保険料の決定について

平成22年中の所得に基づき、平成23年8月に平成23年度の後期高齢者医療保険料を決定します。これを確定賦課といいます。4・6・8月の仮徴収により平成23年度分の保険料をすでに納付されている方は、決定した保険料額から4・6・8月に納めていただいた額を差し引いた残りの額を納めていただくこととなります。その際、決定した保険料額よりも仮徴収額が大きければ還付されます。

納付の方法は年金差し引きによる方法(特別徴収)と現金または口座振替による方法(普通徴収)があります。年金を受給している方は、法令により年金差し引きによる納付の方法が原則となります。納付方法は下表をご参照ください。また、年金差し引きで納付している方でも、申し出により口座振替による納付を選択することができますので、健康福祉課へお申し出ください。

☆=年金差し引き ◎=現金または口座振替

徴収方法	納付月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
① 仮徴収されていて確定賦課でも年金差し引きとなる方		☆		☆		☆		☆		☆		☆	
② 仮徴収されていて確定賦課で普通徴収となる方		☆		☆		☆		◎	◎	◎	◎	◎	◎
③ 仮徴収されていなくて確定賦課で年金差し引きとなる方						◎	◎	☆		☆		☆	
④ 仮徴収されていなくて確定賦課で普通徴収となる方、既に年金差し引き中止を申し出ている方						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※年度の途中で75歳になられた方や、他市町村から転入された場合などは、しばらくの間は現金または口座振替での納付の方法(普通徴収)となります。

2 限度額適用・標準負担額認定証(減額認定証)について

対象者 世帯全員が住民税非課税の被保険者(*1)

内容 減額認定証の交付を受けることで、入院時の食事代等が減額されます。

手続き

◎既に減額認定証をお持ちの方

現在お持ちの減額認定証の有効期限は、平成23年7月31日です。8月以降も(*1)に該当する方は、自動更新されますので申請する必要はありません。

なお、減額認定証は、新しい保険証に同封して郵便でお届けする予定です。

◎減額認定証をお持ちでない方

現在、(*1)に該当する方で減額認定証をお持ちでない方は、入院する時に必ず健康福祉課で申請してください。申請がないと減額認定証は交付されません。また、食事代等の減額が適用されるのは、申請された月の初日からとなりますので、ご注意ください。

目標！
使用電力
15%削減

家庭の節電対策メニュー

福島原子力発電所の事故や浜岡原子力発電所の全面停止により、節電への取り組みが大変重要になっています。この夏は大幅な電力不足が予想されており、平日の9時～20時は使用電力がピークに達する時間帯です。電気は貯めておくことができません。1人1人の心がけと工夫で、できるところから取り組んでみましょう。

エアコン



- 室温28℃を心がけましょう
- 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげましょう(エアコンの節電になります)
- 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう

電力削減率

約10%

約10%

約50%

照明



- 日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。

約5%

ジャー炊飯器



- 早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。

約2%

冷蔵庫



- 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにしましょう。

電力削減率

約2%

テレビ



- 省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消しましょう。

約2%

待機電力



- リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いておきましょう。

約2%



熱中症にご注意！

熱中症の発生は7～8月がピークになります。

節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください。

- 今年節電の取り組みをお願いしていますが、節電を意識するあまり、健康を害することのないようご注意ください。
- 気温が高い日や湿度の高い日には、決して無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用するようにしましょう。

被災地でのボランティア活動を検討されている方へ

災害ボランティアは、「自己完結型」「被災地に迷惑をかけること」が基本です。

現地に行かれる際は、事前に現地の受入状況の情報をホームページ等で確認後、必ずお住まいの地域の社会福祉協議会で、『ボランティア活動保険』に加入し、宿・食事・交通手段等を自分で手配した上で、現地の災害ボランティアセンターのスタッフの指示により活動することが条件となります。

ボランティア活動保険

年間保険料

□天災タイプA 490円

□天災タイプB 720円

*加入日から当該年度の3月31日まで有効です。

*ボランティア活動保険のパンフレットは、社会福祉協議会窓口、町ホームページに掲載してあります。

問合せ・加入申込み

南伊豆町社会福祉協議会

☎62-3156

東日本大震災義援金 ありがとうございます

東日本大震災に対し、多くの皆さまから温かいお気持ちをお寄せいただきましてありがとうございます。

本町にお寄せいただいた義援金16,442,417円(6月20日現在)

なお、義援金は9月30日まで役場健康福祉課、町民課、町社会福祉協議会で受け付けております。

問合せ

健康福祉課

☎62-6273

東日本大震災

被災地支援のため派遣された職員の声



静岡県公衆衛生チーム
鈴木主任保健師(右から2人目)

健康福祉課 主任保健師 鈴木 康子

派遣期間 6月1日～5日
派遣先 岩手県下閉伊郡山田町

被災地での活動内容

- 避難所の感染症予防対策
 - ・体調不良者・避難所内外の衛生状態・食事内容の確認
- 避難所での健康チェック
 - ・血圧測定、健康状態の確認
- 地区家庭訪問
 - ・要支援者の健康状態の確認、受診状況の確認

活動を通して

震災から3か月近くたち、町の中心部のがれきの撤去は進んでいましたが、少し車で走るとまだまだ手が付けられていない地区があったり、ビルほどの高さに積まれたがれきの集積場があったり、被害の大きさにただ驚くばかりでした。

避難所で生活されている方はだいぶ少なくなり、半数近くは仮設住宅へ入居されているようでした。

しかし、避難所に残っていた高齢の方の多くは、仮設住宅に移ってから金銭面のことははじめ自立した生活を送っていかれるかと生活に対する不安を口にしていました。時間の経過に合わせその時々様々な不安があり、保健師の仕事も健康に対する支援を行うだけでなく、安心した暮らしが送れるように支援していく必要があると感じました。また、仮設住宅にも入居期限があるため、その先

の生活まで見据えて長期的な支援が欠かせないと感じました。

わずか3日間の活動でしたが、「静岡県」と名札の付いた服を着て歩いていると、町の皆さんが「ご苦労さま」と声をかけてくれました。「静岡の人に家に来てもらいたいんだよ」と温かい言葉をかけてくださる方もいました。山田町をはじめ、被災された皆さんが一日も早く安心した生活ができることをお祈りしています。



がれきの撤去が進んでいる町中心部

活動を通して

義援金の申請事務で心を大きく揺さぶられました。というのも、申請書には死亡により住民票の除票が何枚もついているものや、津波来襲時家族がどのように行方不明になったかという状況が事細かに記されていました。ただの紙1枚でこんなに衝撃を受けた経験は今までありませんでした。

その他の業務で私が一番印象深かったことは、民間ボランティアに参加させていただいたことです。山田町では大きながれきは重機等により撤去済みだったので、残る細かいがれきは人間の力で撤去しなければなりません。10人がかりで1日かけてやっと一画地を整理できました。達成感と同時に辺りを見渡すと同じ光景が広がって

るため、いつまでかかるのだろうという絶望感も感じました。しかし、所有者の笑顔やボランティアの方々の姿を見て、同じ日本国民として支援活動を全うするという気持ちがかみ上げてきました。

被災地派遣させていただいた私の次の役目は、再びあの地を訪れることと、たくさんの人達に私の経験を伝えることだと思っています。心より早期の復旧・復興を願っています。



津波により破壊された防波堤(船越半島)

こども自転車大会



山本勇之介さん、下川瑞希さん、佐々木鮎美さん、安田倉土さん

5月28日、第25回交通安全こども自転車下田地区大会が下田小学校体育館で行われました。学科と実技試験が行われ、町代表の南上小学校6年生チームは、団体の部で見事優勝しました。また、個人の部でも、下川瑞希さんが優勝、佐々木鮎美さんが準優勝、安田倉土さんが第3位となりました。

きれいな海を後世に残そう



海岸のごみを拾い集める参加者

6月5日、NPO法人伊豆未来塾主催の「南伊豆の海掃除2011」が中木海岸で行われ、町内外から234人が参加しました。ダイバーが海中掃除を、小中学生とボランティアが船でヒリソ浜に渡り海岸掃除を実施し、可燃・不燃ごみ合計510.7kg、台風の影響で浜に打ち上げられた海藻1.5tを収集しました。

ウミガメ今シーズン初の産卵



ウミガメの卵を保護するために掘り出す職員

6月21日、弓ヶ浜海岸で今シーズン初めてアカウミガメの産卵が確認されました。町ウミガメ保護監視員が午前6時40分頃、砂浜にウミガメの足跡を発見しました。教育委員会職員と卵を保護するために砂の中から慎重に掘り出し、100個あった卵を同海岸にあるふ化小屋に移しました。卵は60日ほどでふ化し、8月下旬に子ガメの放流を予定しています。

漁業の再開に向けて 温泉で疲れを癒やしてください



気仙沼市から下田市に移り住んでいる尾形さん兄弟

6月22日、宮城県気仙沼市から下田市に移り住んでいる漁師の尾形広人さん・清人さん兄弟に、町長から銀の湯会館優待券が贈呈されました。気仙沼市はまだ漁ができる状態になく、お二人は以前から交流のある南伊豆町内の漁師仲間の支援を受け、下田市内のペンションに滞在して漁を再開する準備をしています。兄の広人さんは、「気仙沼市の避難所にいる家族と一緒に温泉に入りたい」と話しました。

チャレンジすることが大切



山下さんとパスを交わす子どもたち

6月10日、南上小学校体育館でスポーツ選手活用体力向上事業バレーボール教室が開かれました。ソウルオリンピック出場の山下美弥子さんを講師に迎え、1～4年生はボールに慣れる運動、5・6年生はネットを挟んでゲームを行いました。3つの約束「声を出す」「あきらめない」「仲間がいる」をともに楽しく教わりました。

弓ヶ浜オープンウォータースイムレース(OWS)



ゴールを目指し競い合う参加者



山口綾乃選手 ows監督 山口加奈選手

今大会には、山口綾乃選手（OWSジャパンオープン4連覇）、山口加奈選手（マスターズ水泳世界記録保持者）も参加しました。

6月12日、第2回弓ヶ浜オープンウォータースイムレースが弓ヶ浜海岸で開催されました。個人400m・1km・2km、団体リレー（4人1組、計1.6km）に分かれ、県内外から150人が参加し競い合いました。参加者は「海水は18度で冷たかったが、きれいな海で楽しかった」と話しました。また、9月には同海岸で国際大会が開催される予定です。

おめでとーなべいりゅうまつ

ふるさと文化財の森に設定



東京大学樹芸研究所クスノキ林（青野）

文化庁は、国宝や重要文化財などの文化財建造物の修理に必要な資材のモデル供給林、研修林となる「ふるさと文化財の森」を設定し、青野にある東京大学樹芸研究所のクスノキ林が県内で初めて設定されました。5月2日付けで全国8カ所の森林が設定され、合計38カ所となりました。文化財保護の理解を深める役割も期待されています。

永年(10年以上) 町社会教育委員に尽力



鈴木忠蔵さん（二條）

鈴木さんは、「永年（10年以上）町社会教育委員に従事し静岡県社会教育連絡協議会の発展に寄与した」として、6月13日静岡クーポール会館において、静岡県社会教育委員連絡協議会会長から表彰されました。長い間ありがとうございました。

今月のおすすめ



「ふたつの嘘-沖縄密約」
諸永裕司著/講談社
沖縄密約をめぐる2人の女の物語。沖縄密約をめぐる国の嘘によって人生を断たれた元新聞記者と国の嘘を認めさせようと願い動いた人々の記録。



「それでも笑みを」
大石芳野著/清流出版
戦争や内乱など社会情勢の厳しい地にも、涙をこらえた笑み、はにかみの笑み、はじける笑顔がある。40年間に撮った世界35ヶ所での「笑み」。



「金大中 仮面の裏側」
金基三著/草思社
1998年念願の大統領の座を射止めた金大中は次なる目標をノーベル賞と定め、「太陽政策」など政権レベルで受賞作業を開始する。



「ナニワ・モンスター」
海堂尊著/新潮社
浪速で新型インフルエンザが発生。だがそれは巨大な陰謀の一端だった。日本変革を図る風雲児・村雨知事は危機を打開できるのか。



「ボクは吃音ドクターです」
菊池良和著/毎日新聞社
幼少期から吃音に悩み、電話も外出も嫌いで友達もいなかった。誰にも相談できず「それなら自分で治す方法を見つけよう」と猛勉強の末に医学部へ。



「聖夜」
佐藤多佳子著/文芸春秋
“俺は記憶のないところから鍵盤に触れてきた” 聖書に噛みつき、ロックにも心奪われ、メシアン難曲と格闘する眩しい少年期の終わり。



「挫折する力」
中川洋吉著/新潮社
悪戦苦闘の連続の中で、さらに踏み込んだ仕事を目指して止まぬ映画人・新藤兼人が、己のシグザグ人生を生き生きと振り返る名座談。



「砂上のファンファーレ」
早見和真著/幻冬舎
いつの間にか触れられていた一家の理想。誰もがそれに気づかないふりをしていた。家族って何だ？次々と襲い掛かる、それぞれの現実。



「心を整える。」
長谷部誠著/幻冬舎
プロサッカー選手初の自己啓発書。誰もが実践できるメンタル術！心は鍛えるものではなく、整えるもの。常に力と結果を出す秘訣である。



「ちよちよら」
畠中恵著/新潮社
兄上、なぜ死んでしまったのですか？千穂殿、いま何処に？胸に思いを秘め、困窮する多々良木藩の留守居役を拝命した新之介。

－新着図書案内－

全貌ウィキリークス マルセル・ローゼンバッハ
なぜ女と経営者は占いが好きか 副島隆彦
グッドバイバタフライ 森 英恵
オレ様国家・中国の常識 宮崎正弘
介護旅行にでかけませんか 篠塚恭一
なぜ日本の若者は自立できないのか 岡田尊司
誰でも手話リングル 松森果林
食卓にあがった放射能 高木仁三郎
子どもの頭脳を育てる食事 生田 哲
やさしい着物リフォーム 渋谷容子
野菜を干せばこんなにおいしい 小田真規子
老前整理 坂岡洋子
米粉ランチ サカイ優佳子
金閣寺の燃やし方 酒井順子
茨木のり子の家 茨木のり子
麒麟の翼 東野圭吾
神様がくれた宝石 松田正男

本の宅配をしています

図書館では毎月2回、町内小学校・保育所・配本所の本を入れ替えながら個人宅にも本を届けています。“読みたい本がいつでもどこでも手に入る”そんな図書館サービスを目指しています。遠くの方や図書館を利用することが不便な方は、『本の宅配サービス』をご利用ください。現在41名の方の利用があり、「図書館まで行けないので、こうして届けてくれるのはとてもありがたいです」と喜んでいただいています。これからも一人でも多くの方に図書館があって良かったと思っただけのように、図書の充実・サービスの拡充に努めていきます。



かわいらしいデザインの配本車でお届けします

健康レシピ

ひじきのわさびサラダ



ここがポイント！

- ・ひじきは、カルシウムや鉄、食物繊維が豊富な食材です。煮物だけでなく、サラダにもアレンジできます。
- ・わさびがアクセントになって薄味でもおいしく食べられます。

南豆味会 久澄 鈴乃

▷ 材料/4人分 ◁ (1人分エネルギー 31kcal、塩分0.9g)

- ひじき(乾)……………大さじ4 (20g)
- さやえんどう……………30枚 (50g)
- ツナ缶(水煮)……………大さじ2 (40g)
- A
 - わさび……………小さじ $\frac{2}{3}$
 - しょうゆ……………大さじ $2 \cdot \frac{2}{3}$
 - みりん……………小さじ2
 - すりごま……………小さじ2

▷ 作り方 ◁

- ①ひじきは水に30分程度つけて戻し、水気を切る。
- ②きぬさやは、筋をとって、さっと茹で千切りにする。
- ③ツナは、水気を切る。
- ④①～③の材料を混ぜる。
- ⑤Aの材料を混ぜ、④と和える。

第58回高ボッチ高原観光草競馬大会

するもよし、勝ち馬当てクイズで景品を狙うもよし、ちびっこ馬車や動物ふれあいコーナーを楽しむのもよしの、盛りだくさんな一日を、ぜひお過ごしください。当日は、塩尻駅、市立体育館、東山入口から無料のシャトルバスが運行していますので、ご利用ください。

この他にも、高ボッチ高原を代表する高山植物の一つハクサンフウロや、コウリンカが、見頃を迎えます。散策ガイドツアーもありますので、大会の合間に参加してみたいかがでしょうか。

大会以外の日にも、旬の新鮮な野菜や果物を味わいに、ぜひ塩尻へ足を運んでください。8月下旬からはぶどう狩りが楽しめます。

問合せ 塩尻市観光課
☎ 0263-52-0280



日本一高い場所で行われる草競馬大会



動物ふれあいコーナー

町営南上プール
7月28日オープン

町営南上プ-ル(青野)を、下記期間で開放します。注意事項を守って楽しく遊泳しましょう。雨天の場合は開放しませんのでご注意ください。
期間 7月28日(木)~8月28日(日)
9:00~12:00、13:00~16:00

下記の方は遊泳をお断りします
①酒気を帯びた方・体調の悪い方②危険物を所持する方③著しく風俗を乱す服装の着用者④保護者の同伴がない幼児(就学前児童)

駐車場は、南上小学校の駐車場をご利用ください。グラウンド内の駐車はご遠慮ください。

スイミングキャップを必ずご持参ください。貸出しは行っていません。
問合せ 産業観光課 農林水産係
☎62-6252

石廊崎灯台一般公開

普段入ることのできない灯台の敷地、灯台上部踊り場からの景観は一見の価値があります。

日時 7月16日(土) 10:00~15:00
*雨天・強風の場合は17日(日)に順延
内容 灯台一般開放/海の安全運動啓発/制服の試着・記念撮影/灯台・巡視船・航空機のペーパークラフト配布/灯台用機器の展示等
問合せ 下田海上保安部 交通課
☎23-0145

野鳥は許可なく
飼えません

野鳥は「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律(鳥獣保護法)」で保護されており、原則捕まえたり飼うことはできませんが、メジロの愛玩目的に限り事前に許可を得ることで1世帯あたり1羽のみ、捕獲や飼養が認められています。

ご家庭でメジロを飼うには、まず“捕獲許可”を得たうえで捕獲し、次に飼うための“飼養登録”をする必要があります。

無許可で飼養などをしていると、警察官が予告なくご家庭に立ち入り、法律により以下の罰則や懲役が科されますのでご注意ください。
無許可捕獲 100万円以下の罰金または1年以下の懲役
無許可飼養 50万円以下の罰金または6ヶ月以下の懲役
問合せ 産業観光課 農林水産係
☎62-6252



警察官募集

平成24年4月採用予定の、警察官A(大学卒業もしくは卒業見込み)、警察官B(高校卒業程度)を募集します。募集の詳細については、下田警察署(☎27-0110)もしくは、お近くの交番・駐在所へお問い合わせください。

国民健康保険税の
課税限度額の改正

国民健康保険は、被保険者の皆さんが病気やケガのときに安心して治療が受けられる大切な制度で、被保険者の皆さんが納める国民健康保険税等により運営されています。平成23年度は、国の税制改正に伴う課税限度額の改正が行われました。

問合せ 町民課 税務係
☎62-6222

区分	課税限度額	
	改正後	改正前
医療給付分	51万円	50万円
後期高齢者支援金分	14万円	13万円
介護納付金分	12万円	10万円

下田地区消防組合
職員募集

採用予定人員 消防職員3人程度
採用予定年月日 平成24年4月1日
受験資格 ①高等学校を卒業または平成24年3月卒業見込みの方で、平成元年4月2日以降に生まれた方。②短期大学(高校卒業を入学資格とする修業年限2年以上の専門学校を含む)を卒業または平成24年3月卒業見込みの方で、昭和62年4月2日以降に生まれた方。③大学を卒業または平成24年3月卒業見込みの方で、昭和60年4月2日以降に生まれた方。
*日本国籍を有しない方および地方公務員法第16条の欠格事項に該当する方は受験できません。

試験日・試験科目
□第一次試験 9月18日(日)
教養試験、作文
□第二次試験 10月23日(日)
体力試験、口述試験

受付期間 7月4日(月)~8月12日(金)*郵送の場合8月12日(金)必着
提出・問合せ 下田消防本部 総務課庶務係 ☎22-1829

*試験案内・申込書は南伊豆分署にも用意してあります。

「文芸南伊豆第13号」
作品募集

町民の皆さまから作品を募集し編集発行します。我こそはと思う方、詳細を知りたい方はご連絡ください。
種目(1人2種目以内)
・児童文学、小説、随筆、評論、戯曲、詩
・短歌、俳句、川柳は1人5作品以内
応募資格 町内在住者、在勤者、または町文化協会会員であること。
応募締切 8月5日(金)厳守
注意事項

・未発表作品を原則とします。
・400字詰め原稿用紙(B4判)とし、ボールペンまたは万年筆を使用してください。(ワープロ使用の場合はA4用紙20字×20行とする)
・住所、氏名、電話番号を必ず原稿に明記してください。
・応募原稿は返却いたしません。
・採用、不採用については「文芸南伊豆」の発行をもってかえさせていただきます。

問合せ・原稿送り先
〒415-0304 南伊豆町加納792
教育委員会 文芸南伊豆担当
☎62-0604

法務局夏休み見学会

法務局は、登記など皆さまの生活に関わる仕事をしている行政機関です。その仕事内容を2時間程度でわかりやすくご説明します。夏休みの自由研究等にぜひご利用ください。
日程 8月中(参加希望者との相談で決定します)
対象 小学校高学年~中学生とその保護者(引率者)
申込み 7月29日(金)までに電話でご連絡ください。
会場・問合せ 静岡地方法務局下田支局(下田市西本郷2-5-33)
☎22-0534

静岡メディカル
フォーラム2011

ー「元気脳」をつくりましょうー
日時 7月23日(土) 開場12:30
開演13:30 終了16:00
場所 三島市民文化会館大ホール(三島市一番町20-5)
司会 平山佐知子
(NHK静岡放送局キャスター)
内容

第1部講演 13:40~14:40
テーマ「脳科学の最前線」
講師 前田稔(順天堂大学医学部附属静岡病院 名誉教授)
第2部口演 15:00~16:00
テーマ「元気脳」になる落語
講師:春風亭昇太(落語家)
*入場料無料。申込み不要。駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関をご利用ください。
主催・問合せ
順天堂大学医学部附属静岡病院
☎055-948-3111

富士山の夏期マイカー規制

富士山の自然保護と渋滞のない安全で快適な登山を目的にマイカー規制を行います。乗換駐車場 駐車料金1台千円)を利用し、有料シャトルバス・タクシーにお乗換えください。
規制場所 富士宮口(富士山スカイライン登山区間) 須走口(ふじあざみライン)
規制日時
7月15日(金)17:00~18日(月)17:00
7月22日(金)17:00~24日(日)17:00
7月29日(金)17:00~31日(日)17:00
8月5日(金)17:00~7日(日)17:00
8月12日(金)17:00~21日(日)17:00
8月26日(金)17:00~28日(日)17:00
問合せ 静岡県道路企画課
☎054-221-3359

HP
http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-210/fujisan

戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
湊	白井煌一郎	4.24	悠介・友美
石廊崎	鈴木光	4.29	旭・友子
下賀茂	鈴木音羽	5.16	隆志・由奈

結婚お幸せに

地区	お名前(旧姓)	婚姻日
青市	夏八木勇・麻紀(定家)	5.3

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
手石	鈴木未知	106	5.7
伊浜	肥田留治	81	5.10
二條	不二山佐知子	69	5.11
青市	高橋佐吉	55	5.12
湊	大野良子	84	5.13
西子浦	坂倉あや子	87	5.22
中木	山本大歐	70	5.22
加納	中村秀子	85	5.24
二條	不二山 亘	70	5.28
下賀茂	渡邊信夫	95	5.29

平成23年5月1日から5月31日までに届出のあったもの(敬称略)
※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時にお申し出ください。

人の動き

(6月1日現在)

世帯数 4,038世帯
人口 9,456人(-12)
男 4,523人 女 4,933人
----- (5月中) -----
転入 13 転出 16
出生 5 死亡 14

第61回「社会を明るくする運動」

~犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ~
7月は「社会を明るくする運動」強調月間です。犯罪や非行のない地域社会を築くための活動を推進します。



下田地区保護司会南伊豆支部保護司による広報活動



差田保育所の親子と楽しく田植えを行いました

まちの人

南伊豆の原風景を取り戻そう

吉祥休耕田再生会 さん

各地で地方集落の崩壊が起きている中、南伊豆の原風景を取り戻そうと休耕田を再生する会を立ち上げ、地域の方と共に草刈や米の栽培など充実した活動をしています。

当初は4名で、地区内で何かできることはないかと話し合っていたところ、賀茂農林事務所から菜種栽培の話聞き平成18年にスタートしました。その作業を見ていた人たちが、「何してるの?」「協力するよ」と集まり、現在会員は20名です。31歳から66歳までの幅広い年齢層で活動しています。菜種栽培を2年間行い、稲作を平成19年から現在まで続けて

います。6月には地区の子供会や差田保育所の園児たちと楽しく田植えを行いました。作付け面積は毎年増え、今では80^アまでになり、収穫したお米は賀茂老人ホームや町内保育所へ寄付させていただいています。また、地区の秋祭りには、子どもたちと収穫した米で餅をついて餅投げをするなど、地域のふれあいも大切にしています。

健康一口メモ

おいしく食べて楽しく話そう

～お口の健康は元気長生きのもと～

口は、食べる・話す・表情を豊かにするなど、元気で楽しい生活を送るための大切な機能を持っています。しかし、高齢になると嚙む・飲み込むなどの口腔機能が低下して、食事をおいしく感じなくなったり、うまく話せなくなることから生活機能全般に悪い影響を及ぼすことがあります。町では「口腔機能が落ちたな」と感じる方を対象に、お口の手入れ法や口腔体操などを歯科衛生士に学ぶ「健口教室」を開催しています。ご関心がある方はぜひお問い合わせください。よく噛み、よく食べ、よく話し、よく笑い、これからも元気な生活を続けましょう。

問合せ 健康福祉課（地域包括支援センター）
☎62-6273

スマイルキッズ



下賀茂 ^{な お}湯山奈穂ちゃん（1歳6か月）

大好きなペンちゃんとおままごと♡
今日のごちそう何にする？

広報みなみいず 7月号

2011 No.493

発行日/平成23年7月1日
発行/南伊豆町 編集/企画調整課 印刷/(有)サン印刷
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
町のホームページ
<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/index.php>

編集後記

真夏日、猛暑日、熱帯夜などよく耳にするようになり、今年も暑い夏になりそうです。室内でも起こる熱中症にも気をつけましょう。無理のないよう工夫しながら節電を心がけています。㊦

広報みなみいずは、再生紙を利用しています。